

心を豊かにする「耕し」子育て

たがや

～子供の育つ力を信じて～

子供一人一人には個性があり、見た目や性格、得意なことも、みんな違っています。子育ては、子供自身に備わっている伸びる力を信じて「子供の自分の木」を育てるために、お世話をし、手助けをして大事に育てる必要です。親は「植え付け」に一生懸命になりますが、子供の将来に影響を与えるのは「耕し」のほうです。「植え付ける」とは知識やルールなど、親の頭の中にあるものを子供に教え込むことで、「耕す」とは子供の発言や行動などを親が受け止め、温かく見守ることです。この

「耕し」が、子供の心を豊かにし、将来の「生きやすさ」につながります。そして、その「耕す」作業は特別に心を開いている相手にしかできないことなのです。



では、「植え付け」子育てと「耕し」子育てについて、具体的な事例を挙げてみます。

● 子供に関する口癖

〔植え付け〕：「こんな大人になってほしいの」
〔耕し〕：「どんな大人になるのかなあ」



〔植え付け〕：「こうしたほうがあなたのためよ」
〔耕し〕：「あなたはどうしたいの？」
〔植え付け〕：「そんなこと気にするな！」
〔耕し〕：「その時どう思ったの？」

● 子供に対して持つ感情

〔植え付け〕：(子供の将来への)期待
〔耕し〕：(今の子供への)興味・関心

● 子供に対する思い

〔植え付け〕：「この子にもっと分からせたい」
〔耕し〕：「この子のことをもっと分かりたい」

● 子供への声掛け

〔植え付け〕：「○○はえらいなあ」
〔耕し〕：「○○は面白いなあ」



しかし、「許してはいけない行動」、例えば危険なことをする、人を傷つける、物を壊すことなどはやめさせないと、結局は子供のためにもなりません。「○○はやめなさい」と真剣な態度で伝えましょう。

「耕し」子育てで大切なのは、子供がどう成長するかを子供自身に任せ、肯定的なリアクションをしながら、一緒に遊ぶなどして楽しく過ごすことです。そうすることで、子供のメンタルは驚くほど安定ていき、親子関係が良くなるとともに、子供の心は耕されていきます。そして、自己肯定感の高い、生きやすい体質へと成長していきます。

参考資料：「私、子育て向いていないかも」がラクになる本